

餅つき

布宮慈子^{やすこ}

いま一度餅を搗かむと小正月過ぎたる今日の献立は餅

さなぶり餅、刈り上げ餅あり米どころの餅の名はみな農事にかかはる

時節とて餅を搗きたり山形の食の真中に餅は鎮座す

納豆ときな粉と餡こを用意してホームベーカリーのスイッチ入れる

餅つき機の役目も果たす器具にしてやや草臥しホームベーカリー

生餅はうまいとこのごろ思ふなり子どもの時は当たり前すぎて

丸餅は庄内地方、角餅は内陸なれば雑煮もちがふ

餅搗きでもてなすは義母^{はは}の流儀にてふはふは餅を馳走になりき

切り餅は常に小ぶりな柞葉^{はそば}の義母の使ひし菓子箱残る

餅を延ばし切り餅にせむ 雪の野を一羽の青鷺悠々に行く